



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場会社名 松尾電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6969 URL <http://www.ncc-matsuo.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)常俊 清治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員総務経理部門長 (氏名)網谷 嘉寛 (TEL) (06) 6332-0871  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,102	△2.7	△34	—	△22	—	△44	—
26年3月期第2四半期	3,188	△4.7	△40	—	△31	—	△10	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 17百万円(△76.5%) 26年3月期第2四半期 75百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△1.72	—
26年3月期第2四半期	△0.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,213	6,622	71.9
26年3月期	9,221	6,701	72.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,622百万円 26年3月期 6,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	1.50	1.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△1.6	0	—	0	△100.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	26,220,000株	26年3月期	26,220,000株
27年3月期2Q	497,872株	26年3月期	493,914株
27年3月期2Q	25,724,110株	26年3月期2Q	25,729,067株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の電子部品業界の状況については、グローバル出荷額が堅調に推移しました。

このような環境のもとで、当社グループは、鉄道関連分野及び電力制御機器等のインフラ分野の需要の増加に対応する一方、リチウムイオン電池向けの販売にも注力しました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高につきましては、販売価格の下落及び東アジア向けの売上高の減少により、前年同四半期比2.7%減少し、31億2百万円となりました。損益につきましては、販売価格の下落により、営業損失3千4百万円（前年同四半期比5百万円改善）、経常損失2千2百万円（前年同四半期比9百万円改善）、四半期純損失4千4百万円（前年同四半期比3千4百万円悪化）となりました。

なお、特別損失として当社グループに対するタンタル電解コンデンサ及びアルミ電解コンデンサの取引に関する日本、中国、EU（欧州連合）等の当局による調査に対応するための弁護士報酬等17百万円を計上しました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## ①タンタルコンデンサ事業

タンタルコンデンサ事業につきましては、鉄道関連分野及び電力制御機器等のインフラ分野向けの需要が増加しましたが、カーエレクトロニクス向け及び小型携帯電子機器向けの売上高の減少を補うことができませんでした。この結果、タンタルコンデンサ事業の売上高は25億5千3百万円（前年同四半期比2.4%減少）、セグメント利益は2億円（前年同四半期比14.2%減少）となりました。

## ②回路保護素子事業

回路保護素子事業につきましては、リチウムイオン電池向けの需要が増加しました。この結果、回路保護素子事業の売上高は4億4千8百万円（前年同四半期比1.6%増加）、セグメント利益は2千7百万円（前年同四半期比168.7%増加）となりました。

## ③その他

その他の売上高は1億円（前年同四半期比23.2%減少）、セグメント損失は1千1百万円（前年同四半期比1千7百万円改善）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円（ $\Delta 0.1\%$ ）減少し、92億1千3百万円となりました。流動資産は、同8百万円（0.2%）増加し、54億3千5百万円となりました。これは主として仕掛品が6千8百万円減少したものの原材料及び貯蔵品が2千8百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が2千2百万円増加したこと等によるものです。固定資産は、同1千6百万円（ $\Delta 0.4\%$ ）減少し、37億7千7百万円となりました。これは主として投資有価証券の時価の回復により投資その他の資産が7千1百万円増加したものの、減価償却の進行により有形固定資産が8千7百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ7千1百万円（2.8%）増加し、25億9千万円となりました。流動負債は、同3千4百万円（2.0%）増加し、17億3千8百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が4千8百万円増加したこと等によるものです。固定負債は、同3千6百万円（4.4%）増加し8億5千2百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が5千2百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7千8百万円（ $\Delta 1.2\%$ ）減少し、66億2千2百万円となりました。これは主として、有価証券の時価の回復によりその他有価証券評価差額金が5千7百万円増加したものの、四半期純損失の計上及び利益剰余金の配当を行ったこと等により利益剰余金が1億4千万円減少したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、7億3千7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が増加しましたが、売上債権の増加が縮小したこと等により6千7百万円(前年同四半期比2億1千4百万円増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得が減少したものの、投資有価証券の売却が無かったこと等によりマイナス1千7百万円(前年同四半期比6千万円減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加がなくなったこと等によりマイナス5千1百万円(前年同四半期比1億1百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月5日に公表しました数値から修正を行っていません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が57,608千円増加し、利益剰余金が同額減少しています。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,816,527	1,827,405
受取手形及び売掛金	1,983,943	2,006,731
有価証券	36,190	25,209
製品	770,441	779,353
仕掛品	431,285	362,922
原材料及び貯蔵品	372,944	401,685
その他	17,711	34,086
貸倒引当金	△1,983	△2,008
流動資産合計	5,427,060	5,435,386
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	15,852,838	15,857,020
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,525,678	△14,590,518
機械装置及び運搬具(純額)	1,327,159	1,266,502
その他	6,737,507	6,735,960
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,273,194	△5,298,900
その他(純額)	1,464,312	1,437,059
有形固定資産合計	2,791,472	2,703,561
無形固定資産	30,232	30,448
投資その他の資産		
投資有価証券	902,430	974,911
その他	69,883	68,838
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	972,313	1,043,749
固定資産合計	3,794,017	3,777,760
資産合計	9,221,077	9,213,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	653,273	701,510
短期借入金	700,000	700,000
未払法人税等	18,826	13,426
設備関係支払手形	9,491	8,432
その他	322,140	315,201
流動負債合計	1,703,732	1,738,570
固定負債		
繰延税金負債	154,308	169,757
環境対策引当金	9,322	9,322
退職給付に係る負債	585,523	638,228
資産除去債務	7,075	7,141
その他	59,566	27,573
固定負債合計	815,796	852,023
負債合計	2,519,529	2,590,593
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,219,588	2,219,588
資本剰余金	3,341,270	3,341,270
利益剰余金	1,089,820	949,332
自己株式	△85,480	△85,997
株主資本合計	6,565,198	6,424,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,532	231,455
繰延ヘッジ損益	△137	△110
退職給付に係る調整累計額	△37,043	△32,986
その他の包括利益累計額合計	136,350	198,358
純資産合計	6,701,548	6,622,552
負債純資産合計	9,221,077	9,213,146

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,188,201	3,102,541
売上原価	2,556,504	2,476,758
売上総利益	631,696	625,782
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	264,545	271,749
退職給付費用	14,573	14,418
貸倒引当金繰入額	212	24
その他	392,754	374,519
販売費及び一般管理費合計	672,086	660,712
営業損失(△)	△40,389	△34,929
営業外収益		
受取利息	251	244
受取配当金	10,308	10,352
為替差益	1,856	3,818
その他	1,807	3,513
営業外収益合計	14,223	17,928
営業外費用		
支払利息	5,054	4,747
その他	390	367
営業外費用合計	5,445	5,115
経常損失(△)	△31,610	△22,116
特別利益		
固定資産売却益	225	-
投資有価証券売却益	60,814	-
特別利益合計	61,040	-
特別損失		
固定資産除却損	375	583
製品不具合対策損失	35,057	-
弁護士報酬等	-	17,326
特別損失合計	35,432	17,909
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,002	△40,026
法人税、住民税及び事業税	4,264	4,264
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	4,264	4,264
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△10,266	△44,290
四半期純損失(△)	△10,266	△44,290



(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△10,266	△44,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,712	57,922
繰延ヘッジ損益	△2	27
退職給付に係る調整額	-	4,057
その他の包括利益合計	85,709	62,007
四半期包括利益	75,443	17,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,443	17,717
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,002	△40,026
減価償却費	111,184	99,878
有形固定資産除却損	375	503
長期前払費用除却損	-	79
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,725	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△845
未払役員退職慰労金の増減額(△は減少)	-	△20,610
未払賞与の増減額(△は減少)	350	△165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,050	24
受取利息及び受取配当金	△10,560	△10,597
支払利息	5,054	4,747
為替差損益(△は益)	-	△297
有形固定資産売却損益(△は益)	△225	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△60,814	-
売上債権の増減額(△は増加)	△213,357	△22,788
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,671	30,710
仕入債務の増減額(△は減少)	10,687	48,236
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,092	△5,691
その他	△1,188	△12,583
小計	△144,058	70,575
利息及び配当金の受取額	10,542	10,567
利息の支払額	△5,098	△4,784
法人税等の支払額	△8,527	△8,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	△147,141	67,831
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△505,000	△505,000
定期預金の払戻による収入	505,000	505,000
有形固定資産の取得による支出	△156,718	△17,700
有形固定資産の売却による収入	292	-
無形固定資産の取得による支出	-	△347
投資有価証券の売却による収入	199,461	-
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	472	774
その他	-	130
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,506	△17,142
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	-
リース債務の返済による支出	△11,976	△13,139
自己株式の取得による支出	△237	△516
配当金の支払額	△38,387	△38,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,398	△51,979
現金及び現金同等物に係る換算差額	394	1,188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△53,841	△102
現金及び現金同等物の期首残高	732,522	737,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	678,680	737,615

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注)3
	タンタル コンデンサ事業	回路保護素子 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,615,876	441,336	3,057,213	130,987	3,188,201	—	3,188,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,615,876	441,336	3,057,213	130,987	3,188,201	—	3,188,201
セグメント利益 又は損失(△)	233,824	10,383	244,208	△28,945	215,262	△255,651	△40,389

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルムコンデンサ事業及びアルミコンデンサ事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△255,651千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理、管理部門等の一般管理部門に係る費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注)3
	タンタル コンデンサ事業	回路保護素子 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,553,545	448,415	3,001,961	100,580	3,102,541	—	3,102,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,553,545	448,415	3,001,961	100,580	3,102,541	—	3,102,541
セグメント利益 又は損失(△)	200,665	27,900	228,566	△11,556	217,009	△251,939	△34,929

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にフィルムコンデンサ事業です。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△251,939千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理、管理部門等の一般管理部門に係る費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っています。